

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和8年6月19日

高槻市長 殿

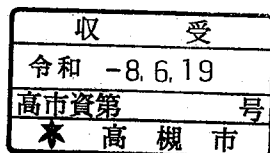
提出者

住所 大阪市淀川区新北野1-2-3

氏名 高松建設株式会社 大阪本店

取締役常務執行役員本店長 井川孝次

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）



電話番号 06-6307-8106

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	高松建設株式会社 大阪本店管轄内各行政事業場
事業場の所在地	大阪市淀川区新北野1-2-3
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	売上高 1081億円（2026年3月期）
③従業員数	1918名（2026年4月現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 別添2 管理体制図のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排 出 量	3.85 t	10.20 t
	(これまでに実施した取組) 作業所における建設副産物の発生抑制への施策実施 (場外加工の徹底、梱包の簡素化他)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	排 出 量	3.08 t	8.16 t
	(今後実施する予定の取組) 作業所における建設副産物の発生抑制への施策実施 (場外加工の徹底、梱包の簡素化他) ※継続実施し、より効率化を行い、副産物の減量化を促進する。 電子委託契約の導入により、本店にて優良業者の選定を行う。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず・ダンボール・石膏ボード・木くず・コンクリート破片・ アスコン破片他作業所の状況に合わせて分別実施		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず・ダンボール・石膏ボード・木くず・コンクリート破片・ アスコン破片他作業所の状況に合わせて分別実施 ※継続実施		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片
21.23 t	9,306.00 t	13.56 t	1,626.16 t

②計画

木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片
16.98 t	7,444.80 t	10.85 t	1,300.93 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	
648.54 t	552.00 t	126.96 t	t

②計画

アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	
518.83 t	441.60 t	101.57 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面-1)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全処理委託量	3.85 t	10.20 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	3.85 t	10.20 t
	再生利用業者への 処理委託量	3.85 t	10.20 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	・本社内で現場のエリアごとに産廃業者の選定を行い、偏りが起こらないようにしている ・特に再資源化率の高い事業者、優良認定を受けている事業者を積極的に選択するようにしている		

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片
21.23 t	9,306.00 t	13.56 t	1,626.16 t
21.23 t	5.00 t	13.56 t	75.54 t
21.23 t	5.00 t	13.56 t	1,626.16 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

(第4面ー3)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	
648.54 t	552.00 t	126.96 t	t
2.96 t	0.00 t	99.97 t	t
648.54 t	552.00 t	123.97 t	t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	紙くず
	全 処 理 委 託 量	3.08 t	8.16 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	3.08 t	8.16 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	3.08 t	8.16 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) 産廃情報ネット等の情報を参考に、優良認定を受けている産廃処理業者との契約締結率をあげる。また、定期的に処理状況の現地確認も行う 特定建設資材については優良認定を受けている再生利用業者に委託する		
※事務処理欄			

(第5面-2)

②計画

木くず	ガラス陶磁器等くず	廃石膏ボード	コンクリート片
16.98 t	7,444.80 t	10.85 t	1,300.93 t
16.98 t	4.00 t	10.85 t	60.43 t
16.98 t	4.00 t	10.85 t	1,300.93 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

(第5面-3)

②計画

アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	
518.83 t	441.60 t	101.57 t	t
2.37 t	0.00 t	79.98 t	t
518.83 t	441.60 t	99.18 t	t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	t

住 所	名 称	担 当 者	電話番号	FAX	電子メールアドレス
-----	-----	-------	------	-----	-----------

(注1) トン来源は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで取置は可。

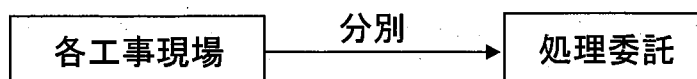
今年度【令和8年度】目録

送 付 先		送 付 先		送 付 先	
種 別	名 称	種 別	名 称	種 別	名 称
送 付 先	〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1	送 付 先	〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1	送 付 先	〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1
送 付 先	〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1	送 付 先	〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1	送 付 先	〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1

コード	品名	計 算 式										備 考	
		(1) 原価	(2) 送料	(3) 手数料	(4) 消費税	(5) 手数料	(6) 手数料	(7) 手数料	(8) 手数料	(9) 手数料	(10) 手数料	(11) 手数料	(12) 手数料
1	600 床ブラステック類	3.08											
2	700 紙くず	8.18											
3	800 木くず	18.98											
4	ガラス陶磁器等	7,444.80											
5	## 炭石青ボード	10.95											
6	## コンクリート片	1,300.93											
7	1502 アスコン片	518.83											
8	1500 その他がれき類	441.80											
9	## 建設廃棄物 (管理型)	101.57											
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
合計		9,846.80	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

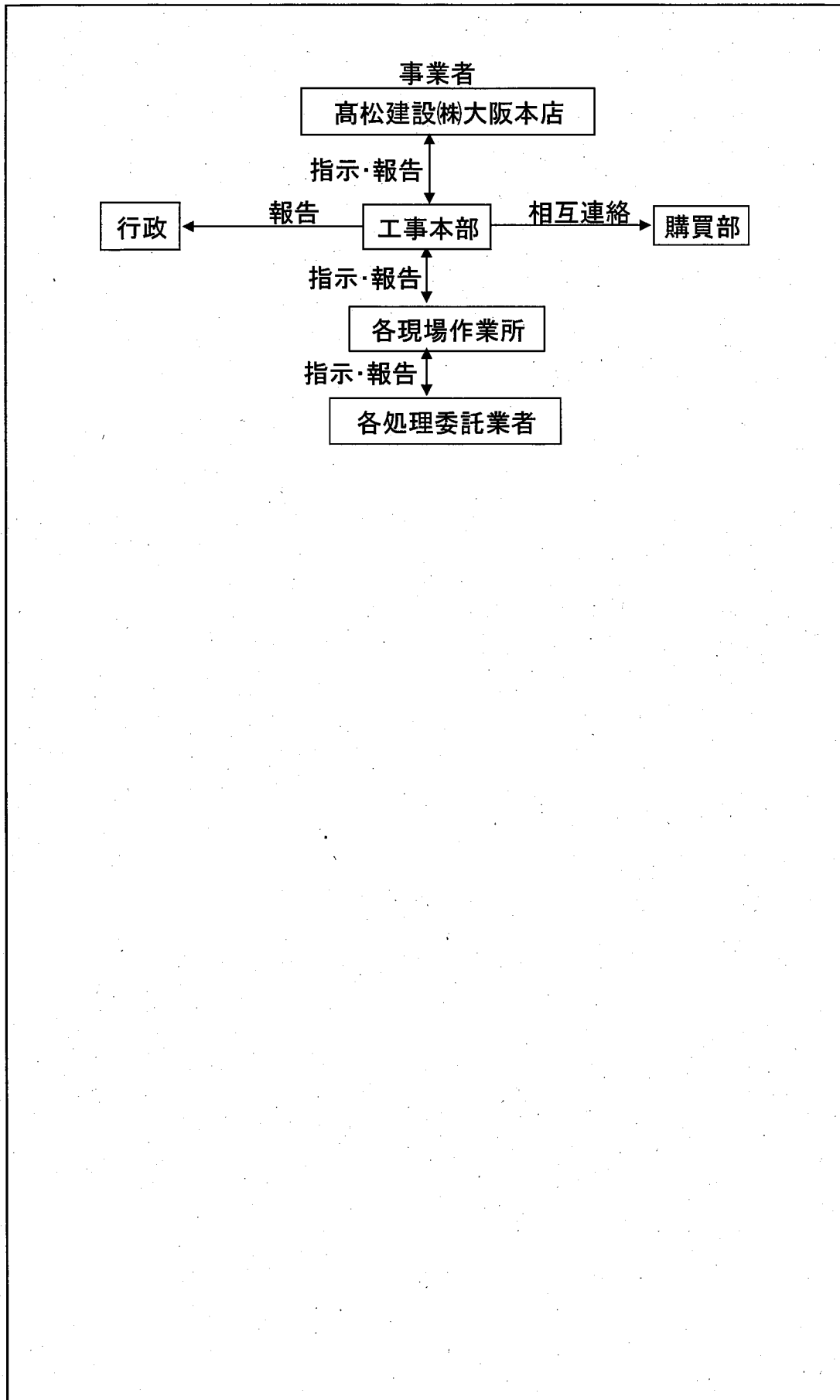
(注) トン単位は概算として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下5桁まで記載は可。

別添 1 処理工程図



解体・営繕・新築工事 他

別添2 管理体制図



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2026年 6月24日

(宛先) 高槻市長

提出者

住 所 門真市岸和田4-10-1

氏 名 中井エンジニアリング(株)
東部導管営業所 所長 大石 伸也

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-883-8121

収	受
令和	-8.6.26
高市資第	号
本	高 槻 市

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	高槻市 管轄内事業所
事業場の所在地	高槻市 管轄区域内
計画期間	令和 8年 4月 1日 ~ 令和 9年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06： 総合工事業
②事業の規模	工事収益 3,258,730,000円
③従業員数	49人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場掘削にて発生 → 収集運搬 → 処理施設にて処理 アスコン破片 コンクリート破片 (おもに破碎)

(日本産業規格 A列4番)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項				自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
【前年度（年度）実績】		①現状		【前年度（年度）実績】		①現状		【前年度（年度）実績】		①現状	
①現状	産業廃棄物の種類			①現状	産業廃棄物の種類			①現状	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (これまでに実施した数値)	t			自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (今後実施する予定の数値)	t			自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (今後実施する予定の数値)	t	
②計画		②計画		②計画		②計画		②計画		②計画	
②計画	産業廃棄物の種類			②計画	産業廃棄物の種類			②計画	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (今後実施する予定の数値)	t			自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (今後実施する予定の数値)	t			自ら再生利用を行った産業廃棄物の量 (今後実施する予定の数値)	t	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項				自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（年度）実績】		①現状		【前年度（年度）実績】		①現状		【前年度（年度）実績】		①現状	
①現状	産業廃棄物の種類			①現状	産業廃棄物の種類			①現状	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (これまでに実施した数値)	t			自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (今後実施する予定の数値)	t			自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (今後実施する予定の数値)	t	
②計画		②計画		②計画		②計画		②計画		②計画	
②計画	産業廃棄物の種類			②計画	産業廃棄物の種類			②計画	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (今後実施する予定の数値)	t			自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (今後実施する予定の数値)	t			自ら熱回収を行った産業廃棄物の量 自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量 (今後実施する予定の数値)	t	

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（年度）実績】		①現状		①現状		①現状	
	産業廃棄物の種類	数量	産業廃棄物の種類	数量	産業廃棄物の種類	数量	産業廃棄物の種類	数量
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t		t		t		t
	(これまでに実施した取組)							

②計画	【目標】		②計画		②計画		②計画	
	産業廃棄物の種類	数量	産業廃棄物の種類	数量	産業廃棄物の種類	数量	産業廃棄物の種類	数量
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t		t		t		t
	(今後実施する予定の取組)							

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和07年度）実績】		①現状		①現状		①現状	
	産業廃棄物の種類	①がれきり	②建設系混合廃棄物	③安宅型建設系混合廃棄物	産業廃棄物の種類	数量	産業廃棄物の種類	数量
	全処理委託量	1375.23 t	4.91 t	1.2 t		t		t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t		t		t
	再生利用業者への処理委託量	1375.23 t	4.91 t	1.2 t		t		t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t	t		t		t
	(これまでに実施した取組)							

・非開削工法での道路掘削の廃減

【目標】	②計画			②計画				
	産業廃棄物の種類	①がれき類	②建設系混合廃棄物	③産業系混合廃棄物	④建設系混合廃棄物	⑤産業系混合廃棄物	⑥建設系混合廃棄物	⑦産業系混合廃棄物
②計画	全処理委託量	1200 t	3 t	0.5 t	t	t	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1200 t	3 t	0.5 t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者への熱回収を行う業者	t	t	t	t	t	t	t
(今後実施する予定の取組)								
・引き続き非開削工法での道路掘削の削減を予定								
※事務処理欄								

前 年 度 【令和7年度】 実 績

事業実施の経緯		計 画 の 進 捗 状 況										出 発 点				電子メールアドレス	
コード	名 称	①計画書	②計画書の作成状況	③計画書の作成状況	④計画書の作成状況	⑤計画書の作成状況	⑥計画書の作成状況	⑦計画書の作成状況	⑧計画書の作成状況	⑨計画書の作成状況	⑩計画書の作成状況	⑪計画書の作成状況	⑫計画書の作成状況	⑬計画書の作成状況	⑭計画書の作成状況	⑮計画書の作成状況	⑯計画書の作成状況
2000	①計画書の作成状況	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375	1,375
2000	②計画書の作成状況	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
32016	③計画書の作成状況	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
4	④計画書の作成状況																
5	⑤計画書の作成状況																
6	⑥計画書の作成状況																
7	⑦計画書の作成状況																
8	⑧計画書の作成状況																
9	⑨計画書の作成状況																
10	⑩計画書の作成状況																
11	⑪計画書の作成状況																
12	⑫計画書の作成状況																
13	⑬計画書の作成状況																
14	⑭計画書の作成状況																
15	⑮計画書の作成状況																
16	⑯計画書の作成状況																
17	⑰計画書の作成状況																
18	⑱計画書の作成状況																
19	⑲計画書の作成状況																
20	⑳計画書の作成状況																
合計		1,381	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,381	0	0	0	0	0

(注)1)本表は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【令和8年度】目標

事業年度の目標		計画の進捗状況										進捗率				備考	
コード	事業年度の目標	①計画立案	②計画立案後の経過	③計画立案後の経過	④計画立案後の経過	⑤計画立案後の経過	⑥計画立案後の経過	⑦計画立案後の経過	⑧計画立案後の経過	⑨計画立案後の経過	⑩計画立案後の経過	計画立案後の経過		計画立案後の経過		進捗率	備考
		①計画立案	②計画立案後の経過	③計画立案後の経過	④計画立案後の経過	⑤計画立案後の経過	⑥計画立案後の経過	⑦計画立案後の経過	⑧計画立案後の経過	⑨計画立案後の経過	⑩計画立案後の経過	⑪計画立案後の経過	⑫計画立案後の経過	⑬計画立案後の経過	⑭計画立案後の経過		
1	1500 ①がれき類	1,200															
2	2000 ②建設系混合廃棄物	3															
3	3010 ③安定型建設系混合廃棄物	1															
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
合計		1,204	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(注)1)「計画立案後の経過」は、計画立案後の経過を記載する。2)「計画立案後の経過」は、計画立案後の経過を記載する。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和8年6月27日

高槻市長 殿

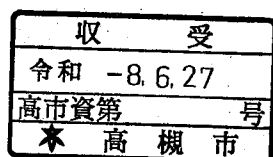
提出者

住所 大阪市浪速区難波中3-5-19

氏名 南海辰村建設株式会社

取締役社長 浦地 紅陽

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)



電話番号 06-6644-7829

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	南海辰村建設株式会社
事業場の所在地	大阪市浪速区難波中3-5-19
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	51,000百万円
③従業員数	480
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	1,088.00 t	0.18 t
	（これまでに実施した取組） ・設計変更等による再生材の利用促進を行う ・リサイクル処理を行う ・分別収集する ・発生量の徹底管理を行う		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	979.20 t	0.16 t
	（今後実施する予定の取組） ・現状維持		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・作業場所条件にもよるが、できるかぎり分別を行い収集している
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現状維持

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
1.65 t	188.70 t	8.88 t	12.74 t

②計画

木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
1.49 t	169.83 t	7.99 t	11.47 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ・ 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・ 現状維持		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により 減量した産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） ・ 特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により 減量する産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） ・ 現状維持		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ・特に実施していない		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ・現状維持		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	1,088.00 t	0.18 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.00 t	0.18 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.00 t	0.18 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	（これまでに実施した取組） ・委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している		

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
1.65 t	188.70 t	8.88 t	12.74 t
1.65 t	188.70 t	8.88 t	12.74 t
1.65 t	188.70 t	8.88 t	12.74 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

(第5面-1)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	979.20 t	0.16 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	0.00 t	0.16 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.00 t	0.16 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・現状維持		
※事務処理欄			

(第5面-2)

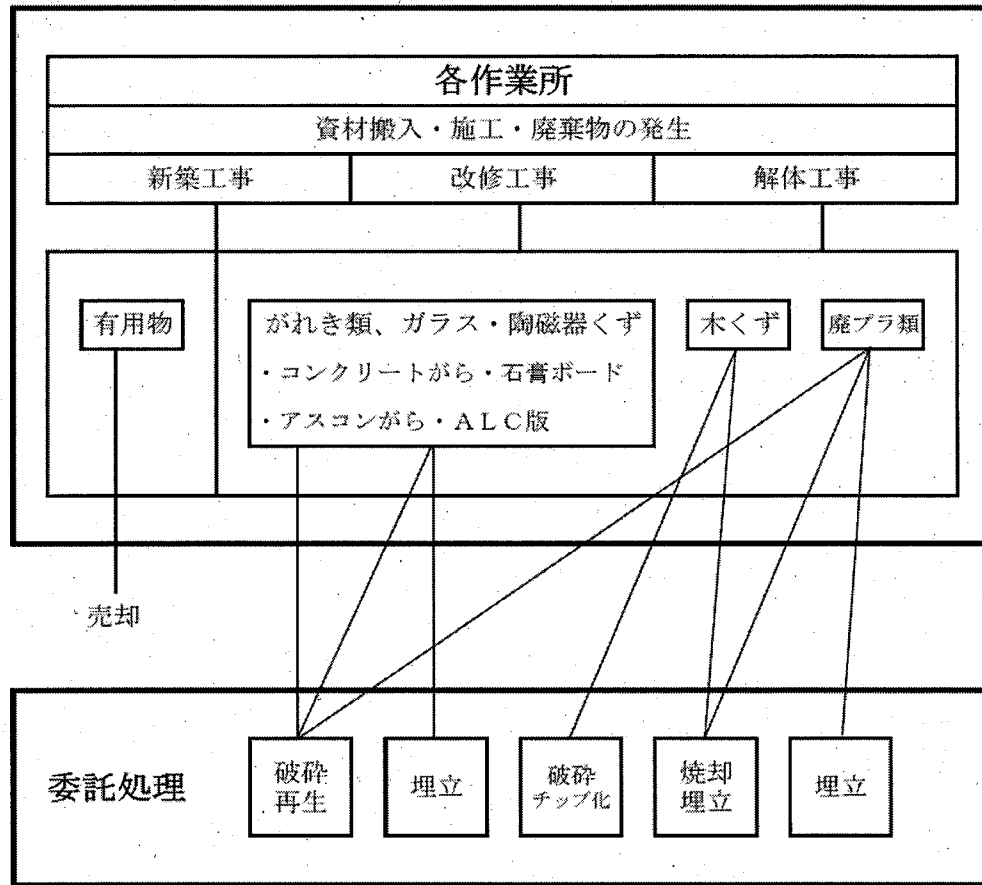
②計画

木くず	コンクリート片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）
1.49 t	169.83 t	7.99 t	11.47 t
1.49 t	169.83 t	7.99 t	11.47 t
1.49 t	169.83 t	7.99 t	11.47 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

別添 1 処理工程図

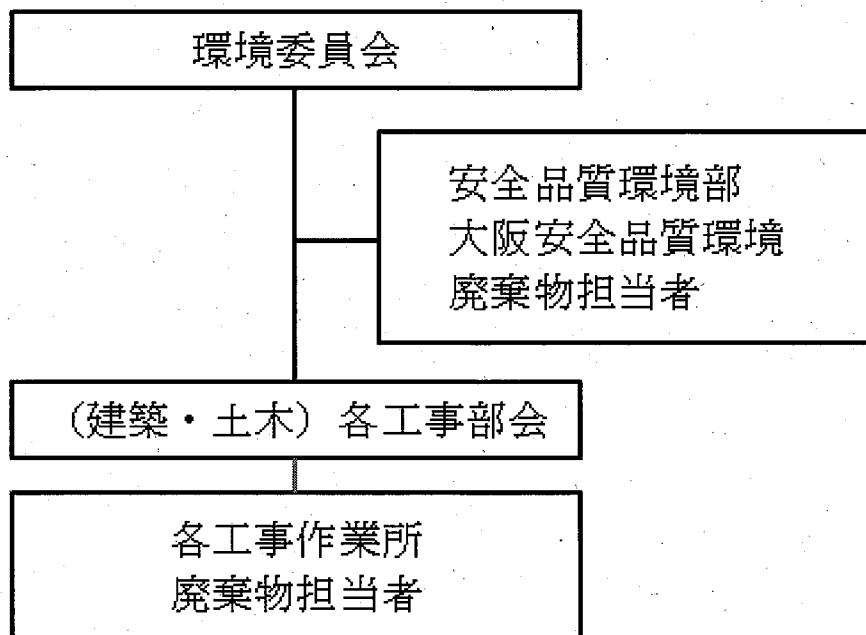
産業廃棄物処理計画書（別紙）

・第1面④産業廃棄物の一連の処理の工程



別添2 管理体制図

(管理体制図)



出 産 者					
姓 名	所 属	出 産 日	出 産 場 所	出 産 時 刻	FAX
電子メールアドレス					

注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年	年度	【令和8年度】	目 標
----	----	---------	-----

[illegible]

(注1)トシ来満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和8年6月16日

(宛先) 高槻市長

提出者

住 所 大阪府高槻市東上牧1-2-5

氏 名 株式会社ニチレイフーズ関西工場
工場長 高橋 玄

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-669-1251 (代)

収	受
令和	-8.6.16
高市資第	号
本	高 槻 市

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ニチレイフーズ 関西工場
事業場の所在地	大阪府高槻市東上牧1-2-5
計画期間	2026.4.1~2027.3.31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	09 食料品製造業
②事業の規模	売上高 426,674百万円 (2026年3月期ニチレイフーズグループ連結)
③従業員数	547名 (2026年4月1日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1 参照

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2 参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（有機性汚泥）	汚泥（下記以外）
	排 出 量	8,901 t	82 t
	（これまでに実施した取組） 「SK会議」（生産性会議）（毎月実施）及び環境保全委員会（3ヶ月毎＋αに実施）にて、生産ライン毎の廃棄物の発生状況を分析／把握し、抑制の対策を協議及び共有する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（有機性汚泥）	汚泥（下記以外）
	排 出 量	9,182 t	85 t
	（今後実施する予定の取組） ＜全体＞目標排出量＝前年度実績量×計画生産量の前年度比（＋4.2%）×今年度削減目標（▲1.0%）（動植物性残渣を除く）とした。 ＜残渣＞生産ライン毎に目標原単位を設定し進捗管理を行う（全体/前年度比▲8.0%）。生産ラインにおける不良品や落下物の削減の取り組みを継続し、これによる排水処理設備の負荷の低減を図る。 ＜有機性汚泥＞排水処理機器の定期メンテナンスによる能力維持：ピット清掃、脱水機、ポンプ交換等		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・対象：汚泥、動植物性残さ、廃プラスチック、金属くず ・取組み：飛散流出防止策、保管量の管理、関連作業への周知
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現状の取り組みの継続及び維持

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

動植物性残渣	廃プラスチック類	非鉄金属くず	
1,554 t	344 t	15 t	t

②計画

動植物性残渣	廃プラスチック類	非鉄金属くず	
1,603 t	355 t	15 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（有機性汚泥）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	8,151 t	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（有機性汚泥）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	8,408 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・ 目標排出量＝前年度実績量×計画生産量の前年度比（+4.2%）×今年度削減目標（▲1.0%）とした。		
	・ 生産ラインにおける原料類（肉・米）の床への落下の削減取り組みを継続、及び周知の徹底。		
	・ 生産機器の効率改善及び老朽化更新における不良品発生率の低減。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（有機性汚泥）	汚泥（下記以外）
	全処理委託量	750 t	82 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	78 t
	再生利用業者への 処理委託量	750 t	4 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	78 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	＜有機性汚泥、動植物性残渣＞肥料原料化及び飼料化による再利用。 ＜動植物性残さ＞飼料化の増加の取り組みを強化:FLW% 実績 前年度比▲8.0% ＜廃プラ＞固形燃料化による再利用。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

動植物性残渣	廃プラスチック類	非鉄金属くず	
1,554 t	344 t	15 t	t
316 t	14 t	t	t
1,526 t	14 t	15 t	t
28 t	t	t	t
t	330 t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥（有機性汚泥）	汚泥（下記以外）
	全 処 理 委 託 量	774 t	85 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	t	80 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	774 t	4 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	80 t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	（今後実施する予定の取組） <全体>目標排出量＝前年度実績量×計画生産量の前年度比（＋4.2%）×今年度削減目標（▲1.0%）とした。 <有機性汚泥、動物性残渣>肥料原料化の継続。 <動植物性残渣>①飼料化の増加の取り組みを強化：FLW% 目標 前年度比▲10.1%）、②バイオガス化装置の稼働（2025年7月）による廃棄量の削減。見込▲128 t/年。 <廃プラ>包装資材のサイズ/材質の見直しによる減量化の推進。		
※事務処理欄			

②計画

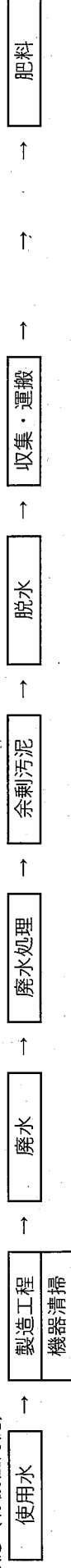
動植物性残渣	廃プラスチック類	非鉄金属くず	
1,603 t	354 t	15 t	t
326 t	14 t	t	t
1,574 t	14 t	15 t	t
29 t	t	t	t
t	340 t	t	t

出 発 地					出 発 地				
社 名	所 在 地	出 発 地	出 発 地	出 発 地	社 名	所 在 地	出 発 地	出 発 地	出 発 地
電子メールアドレス	FAX	電話番号	国 名	出 発 地	電子メールアドレス	FAX	電話番号	国 名	出 発 地

(注) トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

【別紙1 産業廃棄物の一連の処理の工程】

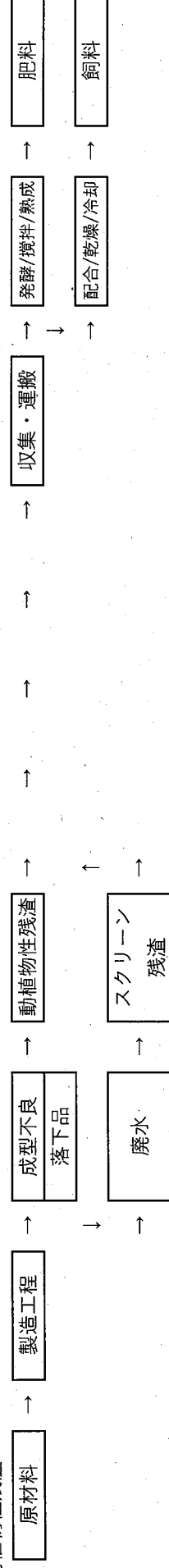
①汚泥（有機性汚泥）



②汚泥（下記以外）



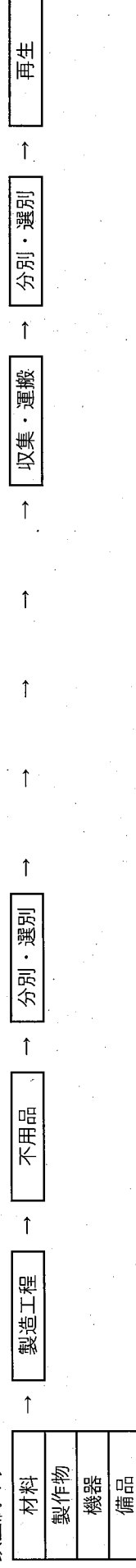
③動植物性残渣



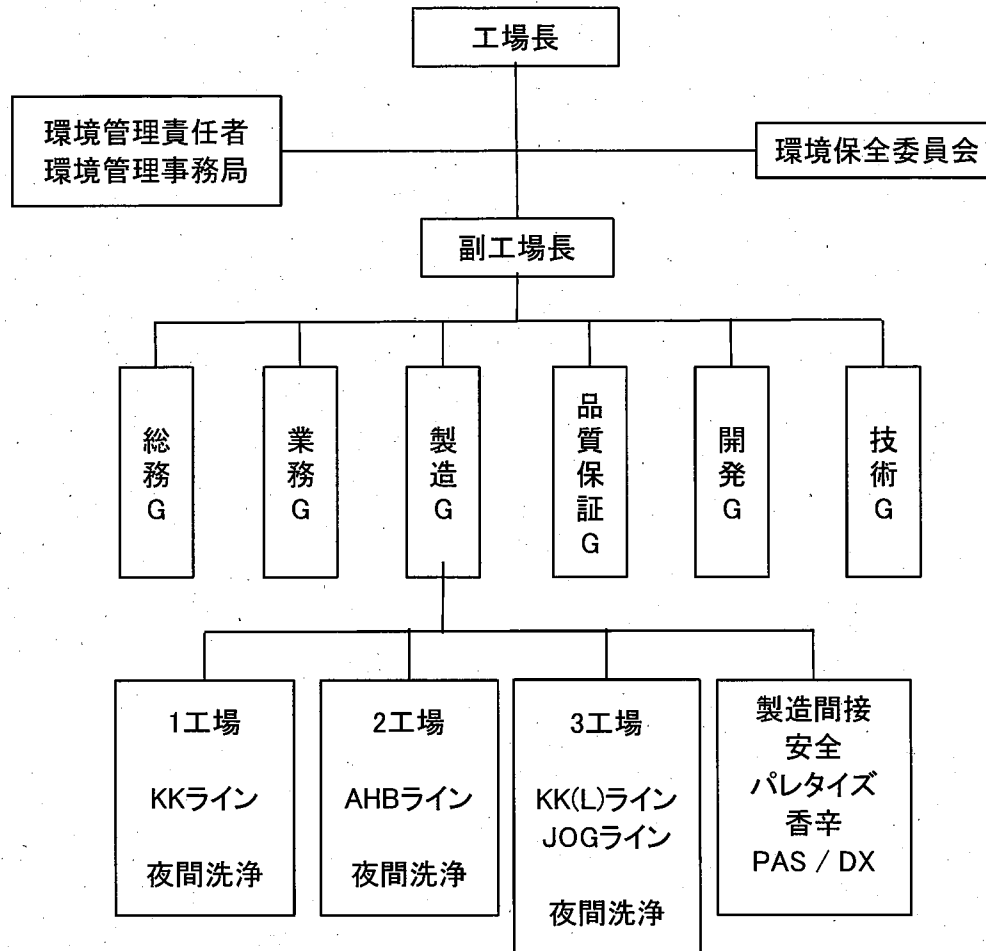
④廃プラスチック類（下記以外）



⑤非鉄金属くず



【別紙2 管理体制図】



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 8 年 6 月 15 日

高槻市長 殿

提出者

住 所 熊本県熊本市南区野田三丁目13番1号

氏 名 株式会社前田産業
代表取締役 前田 一美

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 096-358-6600

収	受
令和	-8.6.15
高市資第	号
本	高 槻 市

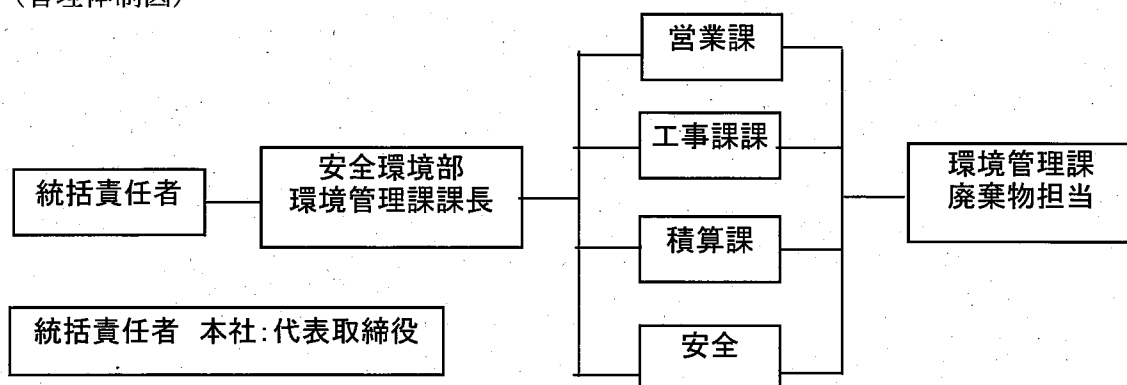
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社前田産業
事業場の所在地	高槻市管轄区域内
計画期間	令和8年4月1日～令和9年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	07 職別工事業業(設備工事業を除く)
②事業の規模	15,019,520,127円
③従業員数	233 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre> graph LR A[工事現場で発生した産業廃棄物] --> B[収集運搬 (自社又は許可業者に委託)] B --> C[中間処理(自社又は許可業者に委託)] C --> D[最終処分(許可業者に委託)] C --> E[再生材] C --> F[有価物] </pre>

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 7 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら
	排 出 量	5310.35 t	18.53 t
	（これまでに実施した取組） コンクリートがら、アスファルトがら、木くずについては再資源化施設への搬入の徹底。 工事現場での分別の徹底。 混合廃棄物の発生抑制。 循環型社会の構築を念頭におき、資源の有効活用に心がけ最終処分量（埋立処分）を限りなく”ゼロ”に近づけるゼロエミッション活動に取り組む。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら
	排 出 量	5500 t	20 t
	（今後実施する予定の取組） これまでと同様に取り組む。リサイクル可能な分別品目を増やし、混合廃棄物は選別が困難なため、混合廃棄物を出さない工夫が大切になる。循環型社会の構築を念頭におき、資源の有効活用に心がけ最終処分量（埋立処分）を限りなく”ゼロ”に近づけるゼロエミッション活動に取り組む。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） コンクリートがら、アスファルトがら、木くずについては再資源化施設への搬入の徹底。工事現場での分別の徹底。混合廃棄物の発生抑制。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 現状維持に加え、混合廃棄物の分別・選別施設への搬入を徹底する。解体工事の際、現場での分別を徹底し再資源化率のアップに努める。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

ガラス陶磁器	廃プラスチック類	木くず	石綿含有産業廃棄物
2.41 t	2.9 t	13.54 t	20.51 t

②計画

ガラス陶磁器	廃プラスチック類	木くず	石綿含有産業廃棄物
5 t	5 t	15 t	25 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

水銀使用製品産業廃棄物	混合廃棄物		
0.02 t	9.23 t	t	t

②計画

水銀使用製品産業廃棄物	混合廃棄物		
0.5 t	10 t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和7年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら
	全処理委託量	5310.35 t	18.53 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	2830.04 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	5310.35 t	18.53 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う業 者	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	委託先の事業の範囲の確認の徹底。 最終処分までの確認の徹底。 業者選定にはリサイクル率の高い中間処理業者を優先する。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

ガラス陶磁器	廃プラスチック類	木くず	石綿含有産業廃棄物
2.41 t	2.9 t	13.54 t	20.51 t
2.41 t	2.9 t	13.54 t	10.36 t
2.41 t	2.9 t	13.54 t	0 t
t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

水銀使用製品産業廃棄物	混合廃棄物		
0.02 t	9.23 t	t	t
0.02 t	9.23 t	t	t
0.02 t	9.23 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら
	全 処 理 委 託 量	5500 t	20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	4000 t	10 t
	再生利用業者への処理委託量	5500 t	20 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 委託先の事業の範囲の確認の徹底。 最終処分までの確認の徹底。 業者選定にはリサイクル率の高い中間処理業者を優先する。		
※事務処理欄			

②計画

ガラス陶磁器	廃プラスチック類	木くず	石綿含有産業廃棄物
5 t	5 t	15 t	25 t
5 t	5 t	15 t	20 t
5 t	5 t	15 t	0 t
t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

水銀使用製品産業廃棄物	混合廃棄物		
0.5 t	10 t	t	t
0.5 t	10 t	t	t
0.5 t	10 t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

前 年 度 【平 成 7 年 度】 実 績

住 所 名 称 電話番号 担当者名 電話番号 FAX 電子メールアドレス														
産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況												
コード	名 称	①排出量	②自ら回収・再生利用した量	③自己処理・処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち、回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後の残量	⑨自ら中間処理した後の残量	⑩⑧のうち、自ら回収・再生利用した量	⑪⑨のうち、自ら回収・再生利用した後の残量	⑫⑪のうち、自ら回収・再生利用した後の残量	⑬⑫のうち、自ら回収・再生利用した後の残量
①排出量		②自ら回収・再生利用した量	③自己処理・処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち、回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後の残量	⑨自ら中間処理した後の残量	⑩⑧のうち、自ら回収・再生利用した量	⑪⑨のうち、自ら回収・再生利用した後の残量	⑫⑪のうち、自ら回収・再生利用した後の残量	⑬⑫のうち、自ら回収・再生利用した後の残量	⑭⑬のうち、自ら回収・再生利用した後の残量
①コンクリートがら		5316.17												
②アスファルトがら		18.53												
③ガラス陶磁器類		2.41												
④廃プラスチック類		2.90												
⑤木くず		13.54												
⑥石綿含有産業廃棄物		20.51												
⑦水銀使用製品産業廃棄物		0.02												
⑧混合廃棄物		9.23												

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【平成 8 年度】目標

住所	氏名	電話番号	FAX	電子メールアドレス

産業廃棄物の種類 コード 名称		計 算 単 位																	計 算 式																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		①排出量	②自国産 発生利用した量 (a)	③自国産 発生利用した量 (b)	④自国産 発生利用した量 (c)	⑤のうちの 自国産発生利用した量 (d)	⑥のうちの 自国産発生利用した量 (e)	⑦のうちの 自国産発生利用した量 (f)	⑧のうちの 自国産発生利用した量 (g)	⑨のうちの 自国産発生利用した量 (h)	⑩のうちの 自国産発生利用した量 (i)	⑪のうちの 自国産発生利用した量 (j)	⑫のうちの 自国産発生利用した量 (k)	⑬のうちの 自国産発生利用した量 (l)	⑭のうちの 自国産発生利用した量 (m)	⑮のうちの 自国産発生利用した量 (n)	⑯のうちの 自国産発生利用した量 (o)	⑰のうちの 自国産発生利用した量 (p)	⑱のうちの 自国産発生利用した量 (q)	⑲のうちの 自国産発生利用した量 (r)	⑳のうちの 自国産発生利用した量 (s)	㉑のうちの 自国産発生利用した量 (t)	㉒のうちの 自国産発生利用した量 (u)	㉓のうちの 自国産発生利用した量 (v)	㉔のうちの 自国産発生利用した量 (w)	㉕のうちの 自国産発生利用した量 (x)	㉖のうちの 自国産発生利用した量 (y)	㉗のうちの 自国産発生利用した量 (z)	㉘のうちの 自国産発生利用した量 (aa)	㉙のうちの 自国産発生利用した量 (ab)	㉚のうちの 自国産発生利用した量 (ac)	㉛のうちの 自国産発生利用した量 (ad)	㉜のうちの 自国産発生利用した量 (ae)	㉝のうちの 自国産発生利用した量 (af)	㉞のうちの 自国産発生利用した量 (ag)	㉟のうちの 自国産発生利用した量 (ah)	㊱のうちの 自国産発生利用した量 (ai)	㊲のうちの 自国産発生利用した量 (aj)	㊳のうちの 自国産発生利用した量 (ak)	㊴のうちの 自国産発生利用した量 (al)	㊵のうちの 自国産発生利用した量 (am)	㊶のうちの 自国産発生利用した量 (an)	㊷のうちの 自国産発生利用した量 (ao)	㊸のうちの 自国産発生利用した量 (ap)	㊹のうちの 自国産発生利用した量 (aq)	㊺のうちの 自国産発生利用した量 (ar)	㊻のうちの 自国産発生利用した量 (as)	㊼のうちの 自国産発生利用した量 (at)	㊽のうちの 自国産発生利用した量 (au)	㊾のうちの 自国産発生利用した量 (av)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (aw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ax)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ay)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (az)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ba)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bd)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (be)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bi)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bl)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bo)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (br)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bs)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bt)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bu)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (by)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (bz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ca)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cd)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ce)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ch)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ci)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ck)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cl)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (co)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cs)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ct)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cu)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cy)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (cz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (da)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (db)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dd)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (de)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (df)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (di)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dl)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (do)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ds)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dt)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (du)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dy)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (dz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ea)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (eb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ec)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ed)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ee)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ef)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (eg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (eh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ei)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ej)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ek)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (el)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (em)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (en)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (eo)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ep)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (eq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (er)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (es)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (et)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (eu)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ev)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ew)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ex)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ey)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ez)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fa)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fd)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fe)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ff)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fi)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fl)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fo)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fs)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ft)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fu)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fy)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (fz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ga)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gd)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ge)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gi)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gl)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (go)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gs)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gt)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gu)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gy)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (gz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ha)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hd)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (he)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hi)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hl)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ho)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hs)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ht)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hu)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hy)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (hz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ia)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ib)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ic)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (id)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ie)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (if)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ig)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ih)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ii)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ij)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ik)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (il)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (im)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (in)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (io)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ip)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (iq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ir)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (is)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (it)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (iu)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (iv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (iw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ix)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (iy)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (iz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ja)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jd)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (je)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ji)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jl)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jo)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (js)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jt)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ju)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jy)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (jz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ka)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kd)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ke)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ki)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kl)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (km)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ko)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ks)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kt)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ku)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ky)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (kz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (la)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ld)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (le)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (li)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ln)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lo)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ls)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lt)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lu)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ly)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (lz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ma)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (md)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (me)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mi)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ml)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mo)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ms)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mt)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mu)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (my)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (mz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (na)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nd)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ne)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ng)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ni)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nl)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (no)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (np)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ns)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nt)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nu)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ny)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (nz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (oa)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ob)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (oc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (od)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (oe)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (of)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (og)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (oh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (oi)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (oj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ok)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ol)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (om)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (on)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (oo)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (op)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (oq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (or)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (os)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ot)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ou)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ov)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ow)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ox)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (oy)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (oz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pa)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pd)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pe)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ph)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pi)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pl)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (po)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ps)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pt)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pu)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (px)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (py)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (pz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qa)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qd)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qe)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qi)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ql)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qo)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qs)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qt)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qu)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qy)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (qz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ra)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rd)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (re)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ri)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rl)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ro)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rs)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rt)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ru)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ry)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (rz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sa)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sd)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (se)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sh)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (si)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sl)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (so)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sp)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sq)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sr)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ss)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (st)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (su)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sv)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sw)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sx)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sy)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (sz)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ta)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (tb)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (tc)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (td)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (te)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (tf)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (tg)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (th)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (ti)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (tj)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (tk)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (tl)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (tm)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (tn)	㊿のうちの 自国産発生利用した量 (to)

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。